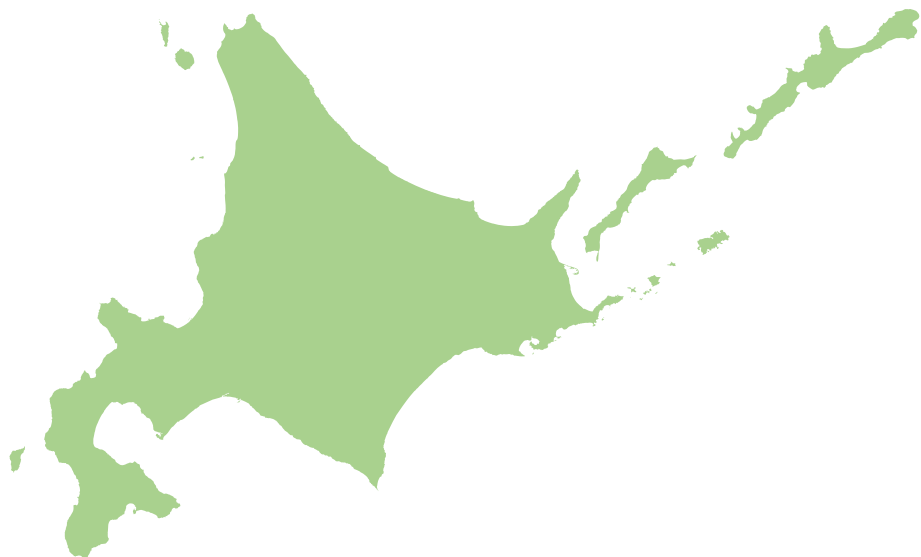




その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

へき地医療拠点病院の指定の考え方について



令和4年2月10日
北海道保健福祉部地域医療課

へき地医療拠点病院の追加指定の要件についていただいたご意見

[第2回総医協地域医療専門委員会（R3.10.20）]

- 新専門医制度において、次の更新時には、医師少数区域での一定期間の勤務というものが求められるのではないかと議論されており、そうした中で、へき地医療拠点病院に対しても、研修の受け入れが集中する可能性があることから、追加指定の要件として「研修」の文言を追加してはどうか。



対 応

- いただいたご意見を踏まえ、追加指定の要件を見直すこととする。

へき地医療拠点病院の追加指定に関する考え方

基本的な考え方

- へき地医療拠点病院は、地域の中核医療機関として圏域内の医師派遣等の役割を担う、地方・地域センター病院を指定する。

追加指定の理由

- 道内においては、地方・地域センター病院以外の病院が地域医療に大きな役割を果たしている地域もあり、へき地の医療を確保するため、当該病院に対し、助成をしている市町村もある。
- 今般の過疎法の見直しでは、過疎債の対象となった民間病院は、「へき地医療拠点病院の指定を受けた者」に限定されており、道が「へき地医療拠点病院」の指定をしなければ、市町村が過疎債を活用することができない状況。
※従前から運営費は、公立・公的・民間とも交付税又は起債の対象、施設・設備整備費については、公立・公的が起債の対象。
- こうした状況を踏まえ、市町村において過疎債（ハード事業）を活用し、民間病院の施設・設備整備費を補助する意向がある場合は、追加指定の対象とする。

追加指定の要件

- 次の要件を全て満たす民間病院について、特例的に追加指定する。
 - 1 国のへき地保健医療対策等実施要綱に定められた、必須事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣、遠隔医療等の診療支援）のいずれかを実施した実績を有する又はこれらの事業を当該年度に実施できると認められる病院であること。
 - 2 上記1に該当する病院について、市町村がのほか、医師等医療従事者への研修など、へき地医療の支援の役割を担う病院として地域に必要と市町村が判断し、過疎債（ハード事業）を活用した財政的支援を予定していること。

追加指定に当たっての取扱

- へき地医療拠点病院の指定は、地方・地域センター病院を基本としており、今回の追加指定は、特例的な取扱であるため、へき地医療拠点病院に対する国及び道の補助金は対象外とする。

目的

へき地診療所等への代診医等の派遣、へき地従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業等が実施可能な病院をへき地医療拠点病院として指定し、へき地における住民の医療を確保する。

実施事業

- ア 巡回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること。
- イ へき地診療所等への代診医等の派遣（継続的な医師派遣も含む）及び技術指導、援助に関すること。
- ウ 特例措置許可病院への医師の派遣に関すること。
- エ 派遣医師等の確保に関すること。
- オ へき地の医療従事者に対する研修及び研究施設の提供に関すること。
- カ 遠隔医療等の各種診療支援に関すること。
- キ 総合的な診療能力を有し、プライマリ・ケアを実践できる医師の育成に関すること。
- ク その他都道府県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力に関すること。

ア、イ又はカのいずれかの事業は必須

※「へき地保健医療対策等実施要綱」（令和3年4月26日医政発0426第26号）